

こどもクリニックニュース

NO. 187 平成27年8月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成27年9月まで)

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。
また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

8月	3日	(月)	2才健診	騎西・保健センター
	5日	(水)	2才健診	加須・保健センター
	24日	(月)	3才健診	加須・保健センター
9月	11日	(金)	1才半健診	騎西・保健センター
	28日	(月)	3才健診	加須・保健センター

当院の診療スケジュール (週間)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前	○	○	/	○	○	○	/	/
午後	○	○	/	○	○	/	/	/

受付時間：午前8:30～12:00、午後14:30～18:00



お盆の診療予定

8月13日(木)～15日(土)は、通常通りに診療します。
※土曜日は午前のみ。

休診の予定

8月16日(日)～23日(日)は休診といたします。
9月5日(土)も臨時的休診といたします。

小児科休日診療の予定

平成27年10月までの当番一覧です。

9月	21日	(月)	加藤こどもC
	22日	(火)	ともながこどもC
	23日	(水)	福島小児科医院
10月	12日	(月)	ともながこどもC

診療は9:00～12:00です。

4月～10月までは、祝日のみの診療となります。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

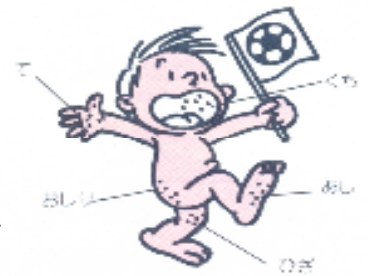
感染症の情報

7月に入ってから、手足口病が爆発的に流行してきました。夏にピークとなり、秋に収束するのが例年のパターンですので、まだしばらく流行が続くでしょう。患者さんの多くは、保育園の園児やその兄弟です。感染経路は飛沫や接触感染、つまり普通のカゼと同じです。ワクチンも特効薬もありません。

その他相変わらず、リンゴ病、おたふくかぜ、溶連菌感染症、胃腸炎(嘔吐、下痢、発熱)、少ないながらも水痘(みずぼうそう)が流行しています。

手足口病

<症状> その名の通りに、手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができます。おしりや肘・ひざ周辺に出ることも多いです。



夏に乳幼児の間で流行し、以前にかかったことのある子どもでも、またうつることがあります。熱はないか、あっても微熱程度が多いです。手足の発疹は痛がりませんが、口の中が痛くて食べられなくなることがあります。

<原因> ウィルスが原因で、人から人へうつる(感染する)病気です。ウィルスは何種類もあるので、何度もかかります。

<経過> 治療をしなくても自然に治る場合がほとんどです。熱やのどの痛みがあるときは、熱さまし(痛み止め)を使用します。

<登園・登校> 症状がなくなっても、1ヶ月くらいは便の中にウィルスが出ています。また無症状でウィルスを出している子供もたくさんいます。したがって、短期間の隔離は感染予防の役にはたちません。

つまり、行ってよいかどうかは本人の症状次第ということになります。元気や食欲のないときは、おうちでゆっくり休ませてください。



いろいろな「傷の保護材」の使い方

ドラッグストアの衛生用品売り場に行くと、傷を乾かさないうで治す商品が何種類も販売されています。以下の商品以外にも、いろいろあり、医療機関でも使っています。ハイドロコロイドと呼ばれています。



すり傷や切り傷、小さなやけどは、このような保護材で表面を覆っているだけで、短期間で治すことができます。痛みも軽く済みます。大変便利な素材で、来院された方が使っているところを見かけることも増えてきましたが、間違った使い方をしている方がいます。

それは「何日間も貼りっぱなし」にすることです。

正しい使い方は、最低1日1回は貼りかえること。貼りかえる時に、水道水やシャワーで、傷をよく洗う事です。今のような暑い季節は「蒸れ」や「あせも」が出来やすいので、1日2~3回くらい貼りかえたほうが、お肌のトラブルが少なくなります。

それから、すべての傷の手当てに共通のポイントがあります。それは「消毒薬は使わない」ことです。消毒は痛いだけでなく、傷が治るのを遅らせます。水でよく洗うだけで十分です。



熱中症に注意

水分補給は、多いくらいで良いでしょう。多少飲み過ぎたとしても、おしっここの量が増えるだけです。

晴れた日の車内は、高温になっています。エアコンをかけて涼しくなっても、チャイルドシートの温度はまだ高く、お子様は「炬燵に入った状態」と考えてください。

アスファルトやコンクリートの表面は50度以上になることがあります。座席位置の低いベビーカーに乗っている赤ちゃんは、さしずめ「サウナ」に入っているようなものです。抱っこやおんぶの方が、はるかに快適でしょう。

インフルエンザワクチンの予告

皆様ご存じのインフルエンザワクチンですが、今シーズン使用分から、全国共通で成分内容が変更になります。

これまでは、A型2種類とB型1種類、合計3種類の成分が含まれていました。「3価ワクチン」と呼びます。今シーズン使用分から、B型が2種類に増えた「4価ワクチン」に変わります。接種回数や間隔は変わりません。

有効成分が増えるという事は、製薬会社の製造費用も増えるという事になります。その結果、インフルエンザワクチンの販売価格も上がるようなので、医療機関の接種料金も値上げせざるを得ないようです。次回(9月号)では当院の接種料金をお知らせできると思います。

夜間や休日の子供の急病対策は？

① 埼玉県小児救急電話相談 (#8000)

家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が電話相談に応じます。

② 子供の救急 (日本小児科学会)

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。<http://kodomo-qq.jp/>

③ 埼玉県救急医療情報案内

受診可能な医療機関の名称・所在地・電話番号を案内します。

(24時間、365日) 048-824-4199

当院のホームページにも「夜中の急病 どうしたらいいの?」というタイトルで発熱や嘔吐した時の対応を紹介しています。ご参考にしてください。



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>

このクリニックニュースもご覧いただけます。

クリニックニュースの無料郵送サービスもしています。

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい。

反対に現在郵送サービスを受けている方で、「ネットで読めるから郵送は不要」という場合は、ご連絡いただければ幸いです。

